

# 令和4年度 第71回岩手県中学校英語弁論大会要項

## (高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会岩手県予選会)

- 1 日時 令和4年9月8日(木) 午前9時～午後5時
- 2 場所 サンセール盛岡 盛岡市志家町1-10 TEL019-651-3322  
(感染症拡大状況により、ビデオ審査とする可能性がある)
- 3 主催 岩手県中学校英語教育研究会 読売新聞社盛岡支局
- 4 共催 盛岡市教育委員会 岩手県中学校文化連盟 (申請中)
- 5 後援 岩手県教育委員会 (申請中)
- 6 部門 暗唱部門3年生の部、弁論部門  
(暗唱部門1・2年生の部は感染症に係る大会規模縮小のため、今年度は実施しない)

### 7 日程

- (1) 予選 9:30～12:30
- (2) 決勝 14:00～15:30
- (3) 閉会行事・表彰 16:15～16:45

※会場内の密の状態を避けるため、発表順に応じた受付時間とする。また、開会行事は行わない。

(発表順は令和4年8月8日(月)までに県中英研サイトに掲載する)

### 8 運営

- (1) 県英研事務局(岩大附属中学校)を中心に盛岡市内等中学校英語科教員の協力を得て実施する。
- (2) 組織  
大会委員長 照井 正孝 (盛岡市立米内中学校 校長)  
副委員長 石積 康弘 (八幡平市立松尾中学校 校長)  
事務局 山蔭 理恵 工藤 卓大 佐藤 里江子 (岩手大学教育学部附属中学校)

### 9 参加資格

- (1) 暗唱部門3年生の部: 中学3年生 弁論部門: 中学1～3年生  
(それぞれの部門に各学校1名ずつ出場することができる)
- (2) 公平を期するため、英語の習得環境が優位と認められる次の者は参加できない。(高円宮杯の参加資格に準ずる)
- ア 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6か月以上、英語圏(\*)に居住した者。
- イ 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6か月以上在籍したことがある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。
- ウ 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(\*)出身の者がいる場合。
- エ 過去に本大会の中央大会にて1位～3位に入賞した者。【弁論部門のみ】
- (\*)「英語圏」とは、英語を(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照のこと。

<https://www.jnsafund.org>

## 10 応募形式

- (1) 制限時間：5分（超過した場合、減点とする）
- (2) 禁止事項 ① マイクなど音声機器は使用しない。  
② 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。  
③ 演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむを得ない場合は考慮する。  
④ 原稿の演題への持ち込みは禁止する。  
⑤ 上記①～④の条項に違反した場合は減点対象となる場合がある。
- (3) 題材・論題 ※全ての原稿について、申込時に提出すること。
- ア 題材【暗唱部門】：中学校教科書（旧版のものも可）に掲載されているものに限る
- イ 論題【弁論部門】：自由  
弁論内容は生徒自身の意見・主張をまとめた未発表のものとする。ただし、高円宮杯関連大会（県内各地区英語研究会主催等の大会）で発表したものはこの限りではない。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現で明示する。これらに違反した場合、失格とする。

## 11 審査

- (1) 内容・英語力・表現の3つの観点から審査する。特に、弁論部門は内容を、暗唱部門は英語力・表現を重視する。
- (2) 各会場において、複数の日本人及びネイティブスピーカーが審査に当たる。

## 12 表彰

- (1) 全部門とも上位6位まで入賞とし、賞状、プレート等を贈呈する。
- (2) 上位大会の出場権
- ア 暗唱部門3年生の部  
第1位入賞者は、第70回東北六県中学校英語暗唱大会〔令和4年11月2日（水）、岩手県〕の参加資格を得る。
- イ 弁論の部  
第1位～第3位入賞者は、高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会（決勝予選大会：ビデオ審査）〔令和4年10月12日（水）、13日（木）〕の参加資格を得る。  
※動画は上位大会出場権獲得後に撮影し、10月5日（水）までに提出する。

## 13 参加料 生徒1名につき2,500円（期間内に銀行振込、または事務局へ持参）

【納入期間】令和4年7月25日（月）～ 令和4年8月5日（金）

【振込先】北日本銀行 加賀野支店 普通 2198782（口座名義：中英研 山蔭理恵）

※振込手数料は各学校負担となります

14 申し込み 電子メールで参加エントリーを行い、その後必要書類の郵送を行う。

(1) 参加エントリーについて (電子メール)

締め切り **令和4年7月29日(金) 17時**

【手順】

- ① 添付 excel ファイル「県弁論エントリー」に必要事項を打ち込む。
- ② ファイル名を「県弁論エントリー (〇〇立〇〇中)」に変える。
- ③ 事務局下記アドレス宛のメールにファイルを添付して送信する。

※1 申し込みを受理後、数日中に事務局から承認メールを送りますので、ご確認ください。メールが届かない場合は、事務局にご連絡ください。

※2 発表順抽選の都合上、締め切り後の発表者、部門、タイトルの変更は一切認めません。

(2) エントリー後の各種書類の提出について (郵送)

締め切り **令和4年8月22日(月) 必着**

【提出書類】

① **暗唱・弁論大会参加エントリー書** (参加申込書)

参加エントリーの際に使用した添付 excel ファイル「県弁論エントリー」の「印刷ページ」を印刷し、公印をついたもの 【各校1部】

② **暗唱・弁論原稿**

添付 word ファイル「暗唱・弁論原稿様式」に原稿を打ち込み、印刷したもの

【各校参加生徒数分】

※添付ファイルの注意事項をよく読み、様式に沿って作成してください。

③ **高円宮杯参加申込用紙**

添付 pdf ファイル又は高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の公式サイトから「参加申込書」をダウンロードし、必要事項の記入と写真の貼付を行い、公印をついたもの

【弁論の部に参加する学校のみ 1部】

(3) その他

- ・発表順は、オーダー抽選後に県英研公式サイト (<http://chueiken-iwate.main.jp/>) に掲載します。
- ・受付時間帯や当日の諸注意については、エントリーされた学校にのみメールで8月中に送付します。  
(ビデオ審査に変更した場合は、動画提出の方法等について改めてお知らせします。)
- ・決勝大会記録DVD、スピーチ原稿集の販売を行います。申し込み時、購入希望と映像収録に係る同意の有無をご記入ください。

15 申し込み先・問い合わせ先

〒020-0807 盛岡市加賀野三丁目9番1号

岩手大学教育学部附属中学校内 岩手県中学校英語教育研究会事務局

山蔭 理恵 TEL 019-623-4241 FAX 019-623-4243

E-mail ryama@iwate-u.ac.jp

## 16 感染症対策について（高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に準じる）

### 基本的な考え方及び開催方式の判断

- (1) 本大会では、部門を3部門から2部門に減らすことで規模を縮小し、オフラインでの開催を予定する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、予選をビデオ審査とする可能性がある。なお開催方式の最終的な判断は、開催日の約1ヶ月前に行う。ただし、その後急速な感染拡大が生じた場合はこの限りではない。
- (3) 岩手県内又は日本国内における緊急事態宣言等の発出の有無を重要な判断材料とし、開催方式を総合的に判断する。
- (4) 本大会関係者全員に日常生活における体調管理の徹底を呼びかけた上で、「標準予防策」「身体的距離の確保」「密閉、密集、密接を避ける行動」を念頭に置いた感染症対策を行う。
- (5) 本大会に関する最新情報は、県英研サイト(<http://chueiken-iwate.main.jp/>)にて随時公開する。

### I 事前の対策

以下の事項に抵触した場合は自宅待機とする

- ア) 「平熱と比較して高い発熱、極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、下痢、吐き気・嘔吐」のうちどれかひとつ又は複数の症状が見受けられる場合。
- イ) 自身が新型コロナウイルスに感染した、又は感染が疑われる場合。
- ウ) 新型コロナウイルス感染症に感染した者の、濃厚接触者と認められた場合。
- エ) 家族又は同居している者が、新型コロナウイルス陽性者と判明した場合。
- オ) 参加者が通う学校にてクラスターが発生した場合。
- カ) 過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察を必要とされている国又は地域への訪問歴及び該当居住者との濃厚接触が認められる場合。

該当者はいかなる場合も大会事務局に連絡を取ること。

### II 当日の対策

マスク着用の原則義務化(不織布マスク推奨)、検温及び手指の消毒、飲食時の黙食の徹底、共用物品(ドアノブ等)の適宜消毒を行う。また、室内換気、受付時間の分散、ホール内及び各種控室の人数制限を実施する。(なお、発表時は審査員および観客との距離を確保した上でマスクを外す。)

### III 事後の対策

接触した日から2週間以内に発症する可能性があるため、万が一感染が疑われる症状がみられた場合には、速やかに所轄の保健所に連絡及び相談の上、本大会事務局まで報告するよう参加者に伝える。また、運営関係者の感染が疑われる場合には、速やかに所轄の保健所へ連絡した上で然るべき対応を講ずる。